



夢を夢のままで終わらせない。
想いを、実現する。



会社概要

会社名	JPB株式会社 (Just Pets Bond)
本店所在地	千葉県千葉市緑区誉田町1丁目789番地3
設立	2023年8月8日
代表者	代表取締役 張本 和貴 (獣医師)
事業内容	JPB動物病院グループの運営 ↳ 千葉県、大阪府、宮城県にある3つの 医療センターを中心に7つの病院を展開 動物病院の夜間診療支援事業 老犬ホーム事業 ペットを介在した地方創生事業 ↳ 5つの自治体と本格連携に向けて協力中
提携団体	NPO法人 Link to
問い合わせ	info@jpb-co.com
ホームページ	https://jpb-co.com/



HP



LINE



You tube

Company Statement

想いを、実現する。

夢を夢のままで終わらせない。
100人の人がいれば100人の想いがあります。
その想いを実現することで、
私たちはより良い世の中を創造します。

Company Value

初心を忘れない
魂を紡ぐ
全てのご縁に感謝する

Company Principle

戦略・戦術に基づいた行動
コンフォートゾーンから外れた提案
スピード感のある統率

Educational Principle

社員教育を通じて、本物の人材を育成する

Segment Mission

グループ動物病院事業

当たり前の獣医療を当たり前に提供し、地域医療格差を無くします

老犬ホーム事業

動物たち、働くスタッフ、訪れた人々みんなの笑顔が花のように彩られる場所を作ります

ペットを介在した地方創生事業

人とペットが暮らしやすいまちづくりを通じて、地域活性化につなげます

JPBグループで働くとは？



JPB株式会社
取締役

行光 基

JPB株式会社
代表取締役

張本 和貴



張本：弊社も設立後3年目に入り、7病院の動物病院グループとなりました。グループの展開とともに「想いの実現」に1歩ずつ近づいているスタッフもでてきており、嬉しく感じています。

行光：病院事業と並行して、ペットと住みやすいまちづくりなど関連事業も徐々にカタチになり始めています。これらの事業とうまくつながってくれば、スタッフの活躍できる場がさらに増えていきますね。

張本：なぜ獣医師になったのか？なぜ動物に関わる仕事を選んだのか？スタッフがこの原点を忘れないようにするためにも、グループとして常に新しいことに挑戦していく必要があります。グループの展開とともにスタッフが一緒に成長することが、社会のため、業界のためになります。

行光：グループの強みの1つとして、医療だけに事業を制限していないこともあると感じています。それこそ、スタッフの原点を聞いていった時に、逆にアイデアをもらうことも多いです。その

アイデアの実現に向けて一緒に進めていくこともとても大切ですね。

張本：組織の規模が大きくなるにつれて文化が薄れてしまい、そういったアイデアをおさなりにしてしまうことも少なくありません。JPBグループは色々な人を巻き込みながら、応援していただけるような組織を目指していますので、一番大事にしなければいけないポイントです。

行光：周りを巻き込んだり、応援していただけるようになるためにはやはり「想い」の強さが欠かせないですね。

張本：はい、JPBグループで働くからには諦めずに実現に向けて一緒に取り組んでいきたいと思っています。そしてその先にグループの目標の1つである100病院の達成に近づき、飼い主さまや動物に何かあった時に最初に思いついていただける、頼りになるグループとなることができます。

JPB動物病院グループは3つの医療センターを中心に
千葉県、大阪府、茨城県、宮城県で7病院のグループを運営。
今後も事業承継を中心に全国へ展開していきます。

2022年 JPB動物医療センター千葉

千葉県千葉市にほんだ動物病院として開院し、2025年に名称を変更。
CTや腹腔鏡設備を導入したCTセンターを新設し、地域の中核病院として夜間救急も行う。



2022年 アムール動物病院

千葉県茂原市の1次診療施設。2024年には保護犬ルームも併設し、保護犬の社会化も支援。
JPB動物医療センター千葉とも連携して高度医療まで対応。夜間救急も行う。



2024年 ひたち滑川丘動物病院

茨城県日立市の1次診療施設。セカンドオピニオンも増えており、
地域医療格差を無くすための重要な施設となれるよう、グループ内で連携して診療を行う。



2025年 JPB動物医療センター八尾

大阪府八尾市の1.5次診療施設。CTもあり、整形外科や眼科に強み。
2階建ての広い施設で老犬ホームやトリミング、保護犬活動も行う。



2025年 OK動物病院

大阪府茨木市の1次診療施設。
JPB動物医療センター八尾と連携して高度医療まで対応。



2025年 JPB動物病院おゆみ野

千葉県千葉市の1次診療施設。もともとウェルネス分野に注力していたこともあり、
今後トレーニングやトリミングなどにも注力。



2026年 JPB動物医療センター仙台東

宮城県利府町の1.5次診療施設。仙台市から近く、循環器に強み。循環器認定医も在籍。



■ JPB Partner制度について

JPB Partner制度は独立を希望する獣医師に対して、採用や教育などさまざまな支援を行う制度です。経営権が弊社から独立した獣医師に移行した際も、JPB動物病院グループとともに、一緒に成長していきます。

3つの医療センターを中心に 地域の医療格差を無くす

■ CTや腹腔鏡設備の導入による外科手術の強化

CTの導入により、これまで判断が難しかった症例の診断精度が向上し、実施できる手術や治療の幅が大きく広がりました。また、腹腔鏡を活用することで低侵襲手術にも対応し、より安全で質の高い医療を提供しています。高度医療を学びながら現場で経験を積みたい方に最適な環境です。

関東統括 /
アムール動物病院
院長
森山



JPB 動物医療センター
千葉
獣医師
片桐 啓輔



■ 心臓外科手術のスタート

当院では、2025年度より外部の心臓外科専門チームと連携し、犬の僧帽弁形成術に本格的に取り組み始めました。1例目の症例も無事に退院し、今後も継続して症例数を増やしていく予定です。高度医療を必要とする動物に対しても最良の選択肢を提供できるグループを目指して、一緒に成長したい方、ぜひお待ちしております。

■ 夜間救急医療の拡充

JPBグループでは、千葉市、茂原市の2病院にて夜間救急を行っています。近くに夜間対応をやっている動物病院が少ないため、片道1時間近くかかる飼い主さまもいらっしゃいます。命を相手にしている以上、夜間救急は必要です。「当たり前」の獣医療を「当たり前」に提供し、地域医療格差を無くす」という目的のために一緒に取り組んでいきましょう！

JPB 動物病院
おゆみ野
院長
岩本 尚起



症例紹介

【不妊手術】去勢手術、避妊手術、堕胎、子宮蓄膿症、帝王切開、皮下陰嚢、腹腔内陰嚢など

【整形外科】膝蓋骨脱臼、前十字靭帯断裂、レッグペルテス病、股関節脱臼、馬尾症候群、骨盤骨折、中手骨骨折、橈尺骨骨折、脛骨骨折、大腿骨骨折、下顎骨折など

【軟部外科】門脈体循環シャント、肝葉部分切除、会陰ヘルニア、臍ヘルニア、鼠径ヘルニア、直腸粘膜プルスルー、胆嚢摘出、脾臓摘出、前立腺摘出、眼球摘出、上皮小体切除、甲状腺摘出、腎臓摘出、結腸固定、胃切除、胃固定、腸吻合、断尾、断指、断耳、断脚、膀胱結石、尿管ステント、会陰尿道瘻、膀胱部分摘出、精管固定、SUB設置、軟口蓋切除、動脈管開存症、肺葉切除、心膜切除、フィラリア症、気管切開、横隔膜ヘルニアなど

Link to/スマイルフラワー事業で 取り組んでいること



老犬ホームスマイルフラワー
萩原・佐藤



JPB グループ 人事部
尾高



佐藤：スマイルフラワーでは、老犬ホームの運営とともに、保護犬猫の譲渡活動も行っています。若齢の子だけでなく、高齢の子も愛護センターから保護して、社会化を行い、譲渡までつなげています。

萩原：お陰様でボランティアさんも増えてきており、登録者が200人を超えました。Link toの「すべてのつながりを大切に」という想いのもと、沢山の方にご支援いただき、とても嬉しいです。

尾高：やはり譲渡に繋げることがとても大切で、ボランティアさん経由で譲渡につながることもありました。活動を始めてから1年弱で、10頭の子の譲渡が決まりましたが、さらに幸せな子を増やしていけるといいですね。

萩原：高齢の子については、なかなか譲渡につながりにくい子もいます。お散歩もゆっくり歩く子、のんびり過ごす子などは、高齢者にも飼育できるので、そういった方にもどんどん広めていきたいと思います。



尾高：高齢の子が決まるとこの活動をやっていると本当に実感しますよね。

佐藤：犬と同じように猫に関してもこれからどんどん受け入れを増やし、これから譲渡にもつなげていきたいと思います。

尾高：譲渡を増やしていくために、「保護犬猫カフェプロジェクト」なども進めています。JPBグループの病院展開とともに保護犬猫活動もどんどん全国へ広げていきましょう。

人とペットがもっと暮らしやすい社会の実現へ

トレーニングは人もペットも暮らしやすい社会を作るためには欠かせない分野です。JPBグループにはドッグトレーナーが複数人在籍し、オンライントレーニングやいぬのようちえんなど様々な社会化支援を行っています。NPO法人Link toの保護犬たちもトレーナーの支援の元、新しい飼い主様を探しています。



社員教育を通じて、 本物の人材を育成する

■ 看護師の教育環境充実にに向けた取り組み

JPBグループでは、OJTチェックシートを用いて業務ごとの習熟度を確認し、できるようになるまでしっかりフォローしています。OJTの進捗や目標の達成状況を把握するため、定期的に面談の時間を設けていますが、後輩と話す中で新たな気づきを得ることも多く、互いに高め合える環境だと感じています。CTなどの高度医療機器導入に伴い、愛玩動物看護師による定期セミナーもスタートし、これからもチーム全体で成長できる環境を準備していきます。



JPB 動物医療センター
千葉
愛玩動物看護師
山下

アムール動物病院 トリマー 平岡



■ トリマー全体のレベルアップを目指して

「社員教育を通じて本物の人材を育成する」という理念のもと、トリマー1人1人の成長を大切にしています。MBOによる明確な目標設定と1on1面談を通じて課題や強みを共有し、技術面だけでなく、カウンセリング面もスキルアップを図っています。病院併設のメリットを生かして、どんな子でもできるだけ綺麗にしてあげられる、飼い主さまから信頼していただけるトリミングチームへと成長できるよう取り組んでいます。

グループ代表が直接行う独自の研修

役職ごとに分かれて、グループの代表が直接、全スタッフへ研修を行います。この研修は「階層別研修」とよばれ、JPBグループの理解を深めることと、「想いの実現」を目指す上で必要なことを学ぶことを目的として行っています。この研修を通じて、社会人としての考え方ははじめ、リーダーとして必要な考え方も身につけることが可能となります。



プログラムの一例

夢や目標の作り方、問題解決能力、伝える力、マーケティング基礎など

各病院の目指す病院像を紹介

● ひたち滑川丘動物病院

「地域の医療格差を無くすためにできること」

ひたち滑川丘動物病院は2024年9月に開院。地域のかかりつけ医として開院1年が経過しました。避妊去勢や歯周病対策などの予防医療の啓蒙をはじめとして、やるべきことは沢山あります。また、夜間救急診療を行っている動物病院も少なく、「一晩様子を見るしかなかった」という飼い主さまもいらっしゃいます。地域医療格差を無くしていくために、これらの課題を1つずつ解決していかなければなりません。グループ内で連携して、少しずつ難治外科などにも対応できるようになってきましたが、日立でも医療レベルを上げ、迅速に対応できる体制を整えていきます。

そして、当院ではトレーナーも在籍しており、気軽に来院していただける動物病院となることで、茨城県では欠かせない病院として成長していきます。

関東統括：森山 獣医師：矢内
動物看護師：有馬 トレーナー：伊藤



● JPB動物医療センター八尾

「地域の中核病院として目指すべき病院とは」

JPB動物医療センター八尾は2025年3月に開院。JPBグループ参画後はトリミングサービスなども開始して、今まで以上に地域の飼い主さまに頼っていただける医療センターとして成長中の病院です。大阪エリアにはOK動物病院もあり、1頭でも多くのいのちを救うために医療ネットワークの構築も進めています。

また、地域の飼い主さまに信頼していただけるためには、地域貢献や動物福祉にも携わる必要があります。そのため、定期的にイベントを開催することで飼い主さまとの交流を図るとともに、保護活動もスタートしています。スタッフ自身もここにすれば安心!と自信をもって言えるような病院となれるよう、これからもチームで取り組んでいきます。

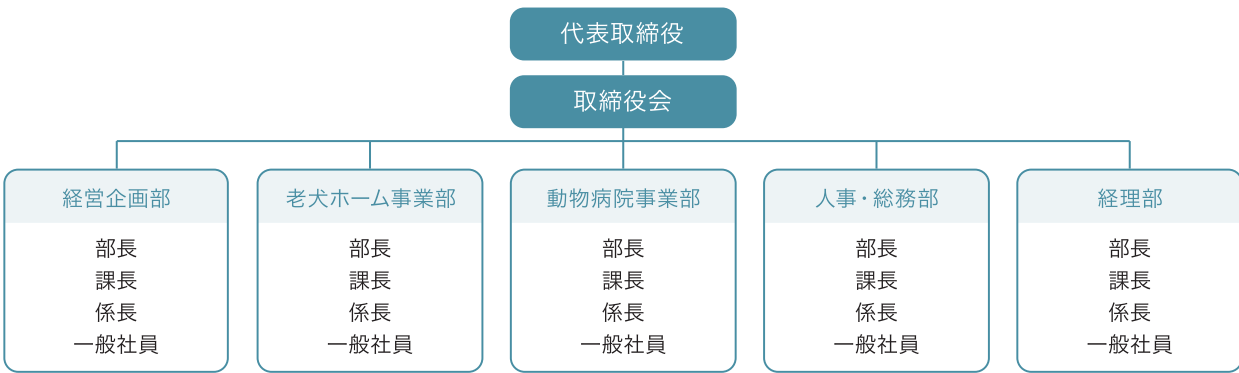
院長：児玉 獣医師：尾崎
トリマー：大東
ケアスタッフ：森本・上村



● 組織体制

自身の役割を明確化し、スタッフ一人一人がそれぞれの役割の中で最大限に力を発揮できるよう取り組んでいます。

また、経営企画部における学生主体で進めるプロジェクトをはじめ、事業部の壁を越えた組織横断型プロジェクトも進行しています。



● 等級制度

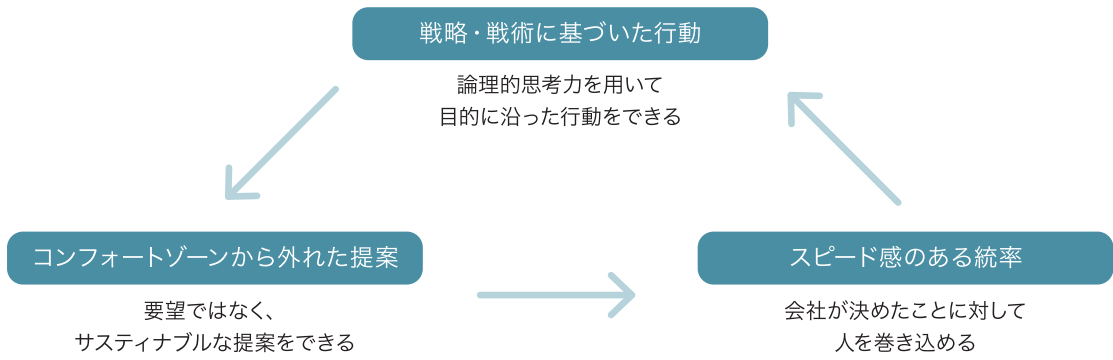
等級	順位	Job communication	Point of care	Business skill
8等級	部長	事業責任を持ち、事業の成長を継続できる		
7等級		複数施設もしくは事業を率いる		
6等級		1施設もしくは課の成長を継続できる		
5等級		1施設もしくは課を問題なく運営できる		
4等級	課長	3名以下のチームを率いる		
3等級		自身の育成及び後輩指導を行う		
2等級		自身の成長に加え、後輩指導を始める		
1等級	一般社員	自身の成長に特化して成長する		

● 評価体制

弊社では、Company Principle（行動指針）に基づいて評価制度を作成しています。

社内の透明性を高められるように数値目標と企画・教育目標を設定し、会社への貢献度を評価します。

等級制度と連動し、昇給や昇格、賞与などに反映します。



見学実習/インターンシップ

獣医師向け

・見学実習

通常の見学実習となり、随時受け付けております。

・実践型インターンシップ

臨床獣医師として必要な技術とコミュニケーションスキルを学び、卒業後のイメージが明確になるような、獣医学生向けのプログラムになります。動物病院へ就職希望の学生に推奨しています。また、JPB動物病院グループ独自の人事制度を実際に体験し、今後のキャリアをよりイメージできるプログラムも準備しています。



プログラムの一例

病院実習・医療コミュニケーション実習・エコー実習・自己分析及びキャリア検討

動物看護師・トリマー向け

・見学実習

通常の見学実習となり、随時受け付けております。

・実践型インターンシップ

看護師やトリマーにとって必要な技術やコミュニケーションスキルを学べます。また、JPB動物病院グループ独自の人事制度を実際に体験し、今後のキャリアをよりイメージできるプログラムも準備しています。

プログラムの一例

【看護師】病院実習・医療コミュニケーション体験・処置実習・教育制度の体験
【トリマー】病院実習・コンサルティング体験・処置実習・教育制度の体験

事業創出インターン/SPM制度

学生がゼロからアイデアを生み出して事業化し、結果が出るまでの過程の楽しさを学ぶプログラムです。また、そのプログラムを実際に事業化して、自身がリーダーとなり、プロジェクトを推進していく「SPM (Student Project Manager) 制度」もあります。グループの経営企画部がサポートに入りながら一緒に推進していきます。



実習や見学など、お問い合わせはHPやLINE、メールにてお気軽にご連絡ください。

LINEで連絡 ▶



募集要項

新卒獣医師

月給 350,000円～

中途獣医師

月給 350,000円～

経験年数、キャリアに応じて決定します。

・給与モデルの一例

基本給 270,000円

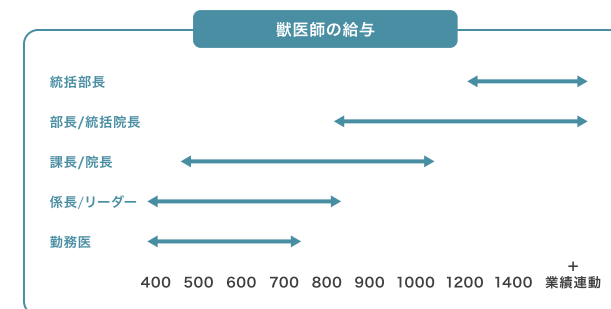
時間外手当 56,250円 (1日1時間程度の残業)

※1分単位で付与、見込み残業なし

住宅手当 30,000円 (上限30,000円/月)

総支給額 356,250円 獣医師の給与

※上記とは別に夜間診療インセンティブあり、評価制度に連動した賞与制度も導入予定



愛玩動物看護師

月給 251,000円 (月平均)

トリマー

月給 251,000円 (月平均)

・給与モデルの一例

基本給 192,000円

時間外手当 39,000円 (1日1時間程度の残業)

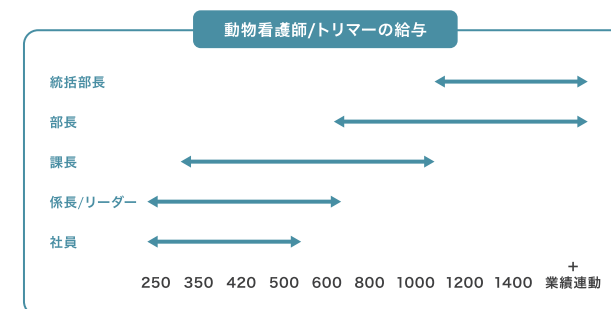
※1分単位で付与、見込み残業なし

交通費 20,000円 (上限20,000円/月)

総支給額 251,000円

※上記とは別に夜間診療インセンティブあり、評価制度に連動した賞与制度も導入予定

※地域や勤務地により変動あり



トレーナー

愛玩動物看護師・トリマーと同様の給与体系で、ケアスタッフも兼任。

各種手当

通勤手当・住宅手当・精勤手当・インセンティブ手当・地域手当

福利厚生

社会保険完備 (健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険)

セミナー参加費支給

セミナー有給制度 (年2回)

休暇・休日

慶弔休暇

産前産後

育児・介護休暇

子の看護休暇

完全週休二日制

年次有給休暇 (1年目10日間、その後は法定通り)

スタッフの出身校

日本大学・日本獣医生命科学大学・北里大学・麻布大学・岡山理科大学・帯広畜産大学・岩手大学・酪農学園大学・鹿児島大学・ヤマザキ動物看護短期大学・専門学校ちば愛犬動物フラワー学園・専門学校ビジョナリーアーツ・中央動物専門学校・つくば国際ペット専門学校・専門学校日本動物21・ナンバペット美容学院